臺灣日日新報 (土曜日) 第一万三千四百三十八號 昭和十二年八月二十一日 (原臨配種) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) (第二版)

臺灣昌新報 (夕刊) 八月二十日 夕刊定価一部二錢 臺北市榮町四丁目番地 臺北支局 基隆市旭町一丁目 基隆支局 臺中市寿町六丁目 臺中支局 臺南市錦町一丁目 臺南支局 高雄市入船町一丁目 高雄港支局 大阪市西區靱南通一丁目 大阪支局 東京市京橋區銀座三丁目 東京支局

空軍威力を發揮

南京參謀本部と軍官學校を爆撃

約十發命中して大火災

【東京二十日發同盟至急報】午前十一時海軍省發表、昨十九日午後のわが〇〇海軍航空部隊の南京火藥廠爆撃に引續き〇〇海軍航空部隊の南京參謀本部及び軍官學校を爆撃し夫々約十發づつの爆彈を命中せしめ校内各所に大火災を起さしめた、わが方に損害なく夜間飛行を敢行しつつ全機無事歸還せり

長驅漢口を衝く

飛行場、軍需工場を爆撃

【上海二十日發同盟至急報】我が海軍機〇機は今朝曉雲を衝いて長驅漢口上空に現はれ飛行場及び軍需工場一帶を爆撃し多大の損害を與へた

支那有數の造船所

江南機器局を爆破

南驛附近にも爆彈投下

【上海二十日發同盟至急報】わが〇〇機〇機は今朝七時より南市の江南機器局並に南停車場附近に南停車場附近に現はれ前七時十分海軍〇〇機は北停車場附近に大果敢な爆彈投下を以て支那有數の造船所たる江南機器局を完膚なきまでに爆破した

北驛附近敵陣も爆撃

【上海二十日發同盟】午前六時三十分海軍〇〇機〇機は今朝七時十分海軍場敵州河寄敵陣地を爆撃、更に虹橋飛行場附近に爆彈を投下多大の損害を與へて歸還した

新手の安田部隊奮戰

【上海二十日發同盟】昨十九日午前七時五十分六百の敵機來襲しわが航空及び虹口附近に爆彈を投下したがわが方の損害は僅かに數名を出したに過ぎなかつた、わが方に被害なし、なほわが〇〇機は午前八時何れにか歸還を消した、わが方に被害なし、なほわが〇〇機は午前八時何れにか歸還を消した、わが方に被害なし、なほわが〇〇機は午前八時何れにか歸還を消した

北驛附近から砲撃

【上海二十日發同盟】二十日午後十一時頃北停車場附近より敵陣地を砲撃せり、敵陣地との交通はこれにより阻んとなり敵は退却を開始せるが午前一時四十分に至るも尚延焼中である

敵機が六臺飛來

【上海二十日發同盟】昨二十日午前七時五十分六百の敵機來襲しわが航空及び虹口附近に爆彈を投下したがわが方の損害は僅かに數名を出したに過ぎなかつた、わが方に被害なし、なほわが〇〇機は午前八時何れにか歸還を消した、わが方に被害なし、なほわが〇〇機は午前八時何れにか歸還を消した

便衣隊執拗に挑戰

【上海二十日發同盟】昨夕蘇州河の〇〇橋附近に於ける便衣隊の〇〇橋附近に於ける便衣隊の〇〇橋附近に於ける便衣隊

昭和十二年八月二十一日　臺灣日日新報　第一万三千四百三十八號　（第三種郵便物認可）　（二）

空爆に黒煙
蜂の巣の敵陣地
上海北部戰線を視る

【上海十九日發本社特電】我が空軍の教育に當る艦隊軍機は地上軍に眼は殘れ早くも大勢を制し〇〇万圓の戰況も一時小康を得たので、十九日午前十一時記者は艦隊參謀の案内で軍機數機を携へた兵三宮の艦上に、北部飛行場に出發した、先づ〇〇〇飛行場に到着する、此處は十三日朝飛以來、我が〇〇部隊の制壓した場所で各所に土嚢が築かれ場内には數しの午砲にふける我が陸戰隊勇士が十數か

鐵兜

を枕に仆と伏のままでゴロ寢をしてゐる、進撃の戰鼓も忘れたやうな靜かさだ、此處から南〇〇米の〇〇飛行場方面は未だ非常に危險で今朝も我が兵候が機關銃で狙撃されたと聞かされた、此處で更に案内兵をつけて貰ひ目指す北に擊破された〇〇工場内を過ぎ古廟場〇〇の煉瓦の壓壓のやうにいかめしい門をくぐる、中には頑丈な煉瓦建の倉庫が數棟も續飛に並んでゐる、之は支那人の經營に係る所だ、十三日午後五時今次事變の歷史的な旗揚の第一矢は此處に起つたのだ、目に餘る敵の部隊の攻撃に我兵の〇〇部隊は必死の防戰を續み非常な苦戰に陷り一時は壓倒的な敵兵の壓倒を決めたが此の時天佑か忽然な

强風

が敵陣に向つて吹き始めた、之を見た部隊長は時機に遲き神ちを決意し中村兵團長を陸長とする決死隊を組織、陸戰隊は手に手に石油罐を携へ雨と飛ぶ敵彈の中を敵陣に突入し一齊に火を放つた、かくて火焰は敵陣を總ひ出して敵の陰に乘じ我が軍は猛然突撃に出して午後十一時小雨降る〇〇飛行場を完全に占領した、此の戰鬪で我が軍は戰死者十數名を出したのみで敵は實に三百數十の死體を殘して退却した、此處で更に案内兵をつけて貰ひ目指す北に擊破された〇〇工場内を過ぎ古廟場〇〇の煉瓦の壓壓のやうにいかめしい門をくぐる、中には頑丈な煉瓦建の倉庫が數棟も續飛に並んでゐる、之は支那人の經營に係る所だ、十三日午後五時今次事變の歷史的な旗揚の第一矢は此處に起つたのだ、目に餘る敵の部隊の攻撃に我兵の〇〇部隊は必死の防戰を續み非常な苦戰に陷り一時は壓倒的な敵兵の壓倒を決めたが此の時天佑か忽然な

强風

が敵陣に向つて吹き始めた、之を見た部隊長は時機に遲き神ちを決意し中村兵團長を陸長とする決死隊を組織、陸戰隊は手に手に石油罐を携へ雨と飛ぶ敵彈の中を敵陣に突入し一齊に火を放つた、かくて火焰は敵陣を總ひ出して敵の陰に乘じ我が軍は猛然突撃に出して午後十一時小雨降る〇〇飛行場を完全に占領した、此處で更に案内兵をつけて貰ひ目指す北に擊破された〇〇工場内を過ぎ古廟場〇〇の煉瓦の壓壓のやうにいかめしい門をくぐる、中には頑丈な煉瓦建の倉庫が數棟も續飛に並んでゐる、之は支那人の經營に係る所だ、十三日午後五時今次事變の歷史的な旗揚の第一矢は此處に起つたのだ、目に餘る敵の部隊の攻撃に我兵の〇〇部隊は必死の防戰を續み非常な苦戰に陷り一時は壓倒的な敵兵の壓倒を決めたが此の時天佑か忽然な

强風

が敵陣に向つて吹き始めた、之を見た部隊長は時機に遲き神ちを決意し中村兵團長を陸長とする決死隊を組織、陸戰隊は手

事十數分後の〇で敵陣を食ひながら敵撃してゐた、關飛以來連日の激戰を續けてゐる八字橋は虹口クリークに架かる橋か此處から南に過ぎない、橋の向側には敵兵の死體らしいものが見られる、五間のクリーク一つが我軍の壕だ、敵は川邊まで進出し猛烈な攻撃を繼續するのだが我軍は斷乎として之を撥ね返す、對岸になると敵は三百米退却する、そして時々物凄い

夏空

を切つて我が飛行機が見事な急下降をしたかと思ふと轟然たる爆音が耳膜を突に響く敵陣あたりに起つた、兵士等の顏には不敵の微笑が漲いた

福建、廣東の要人弱音
山間の僻地へ逃避行

のではないが、國民黨幹部の指令と他省との援助と抗敵後援會を組織して居るに過ぎない等と揶揄をはくものがあらが、之に反し抗日態度は益々熾烈である

支那行郵便物
責任を負はず
遞信省が告示

【東京二十日發國聞】戰線の擴大とともに支那國内の遞信機關となりつつあるので支那行外國郵便物が果して受取人の手許に配達されるや否や頗る疑問となつて來たので遞信省郵務局では國際の總支那行郵便物について豫め差出人旨二十日官報をもつて告示することとなつた、このため支那行郵便物は受付はするが書留、代金引換記等の郵便物が絶對に安全に受取人は遞信省に苦情を出しても出來なくなつた

交換嬢の陣營強化

【漢口廿日發】漢口電話局では戰時體制下に鞏固してゐるが最も重要な電話交換の途にある鳩山一郎氏は十七日ドイツ汽船ポツダム號でシンガポに上陸十九日ベルリンに到着した

氷夫が從軍志願

【漢陽廿日發】當地製氷人當時商組東沿岸統治ぐらい丸乘組氷夫原田四郎（三）外二名は今般の支那事變勃發に際し陸軍當局の要請に應じ軍屬として從軍することとなつた、同人等は身體健實、身體健全な内地人のみに限定せんとしめた

鳩山氏伯林着

【ベルリン十九日發本社特電】歐米遊歷の途にある鳩山一郎氏は十七日ドイツ汽船ポツダム號でシンガポに上陸十九日ベルリンに到着した

壯丁は續々逃亡し
囚人に軍事訓練
福建、防備に狂奔

【十九日香港發】福建廣東兩省の官民中には南京政權の態度を疑ひ最近まで支那軍には津地方に於て大勝を博して居ると信じたものが多かつた北北及び天津一帶が何れも既に完全に日本軍に占領され

外地の支那人
の引揚數

【東京十九日發本社支局特電】拓務省當局に於ては本邦在留支那人中、朝鮮在留は六万四百七十九名内六千七百七十五名は既に歸鮮方面では時局の緊迫化と共に歸心の不心得者が現れんとも限らず滿洲當局等と一團協力して之を取締るべく一面日中に主として無智な本國人大衆を目標とする時局引揚命令あるも植國せずとし殊に居るもの相當にある此で

無智な大衆の
目をひらく
基督で時局座談會

【基隆電話】基隆の耶、蘇、市の關係方面では時局の緊迫化と共に

支那行郵便物
責任を負はず
遞信省が告示

【東京二十日發國聞】戰線の擴大とともに支那國内の遞信機關となりつつあるので支那行外國郵便物が果して受取人の手許に配達されるや否や頗る疑問となつて來たので遞信省郵務局では國際の總支那行郵便物について豫め差出人旨二十日官報をもつて告示することとなつた、このため支那行郵便物は受付はするが書留、代金引換記等の郵便物が絶對に安全に受取人は遞信省に苦情を出しても出來なくなつた

交換嬢の陣營強化

【漢口廿日發】漢口電話局では戰時體制下に鞏固してゐるが最も重要な電話交換の途にある鳩山一郎氏は十七日ドイツ汽船ポツダム號でシンガポに上陸十九日ベルリンに到着した

氷夫が從軍志願

【漢陽廿日發】當地製氷人當時商組東沿岸統治ぐらい丸乘組氷夫原田四郎（三）外二名は今般の支那事變勃發に際し陸軍當局の要請に應じ軍屬として從軍することとなつた、同人等は身體健實、身體健全な内地人のみに限定せんとしめた

鳩山氏伯林着

【ベルリン十九日發本社特電】歐米遊歷の途にある鳩山一郎氏は十七日ドイツ汽船ポツダム號でシンガポに上陸十九日ベルリンに到着した

空襲のデマに
警備隊も逃歸る
香港の狼狽振り

【十九日香港發】十八日夜廣東より香港に引き揚げた難民〇〇〇氏は次の如く語つた

廣東以來支那兵及び警察官の暴擧振りは全くお話にならぬ、殊に今度こそ支那官憲の心持ちがすつかり判つた、それは十六日の午後日本飛行機來襲のテマのとんだ時、市内警備中の軍隊も警察官の慌て方は見物だつた、防空監視も警戒もあつたものでない、血眼になつて指揮から警察へ一駈けつけるもの許りで逃の早いのは荷物まで持ち出した、官廳や警察官がこだか

廣東居留民會
悲壯な聲明

【香港十九日發本社特電】十七日香港に引揚を完了せる廣東居留民會は十九日香港に最後の長官を開催次の聲明を發表した

我々五百の同胞は抗日時日の最前線の重擔を擔東に數十年來居住發展に盡瘁し來つた所の今次事變に當り支那軍官憲の無理解なる壓迫と暴力的な手段又は誘惑に依り派遣軍官人の手先となり派遣に對し敵對的に敎唆上越に至つた

一、派遣軍官人の邦家に對しては飽迄も日支國民情勢の地盤に鑑み之に對處すべき萬全の方策を講じてゐるが特に今時の事變の爲め派遣軍官を受けたる官人の邦家族並に子弟の敎育に關しては後顧の憂ひなからしむることは銃後に於ける國民の義務として現下最も緊要なる事項と認め各出先機關、關東、直隸學校長等夫々關係官方面に對し適當長官名を以て通牒を發し左記各事項を實行せしむる樣となつた

一、派遣軍官人の子弟に付き公學校にありては授業料を免除し、中等學校其の他の學校にありては授業料を免除且つ寄宿舍費入學受驗料等は之を減免すること

一、派遣軍官人の子弟にして必要なる者に對しては學用品其の他の納費及學校給食等に關し特に考慮を拂ふこと

一、專門學校以上にありては派遣軍官人の子弟たる學生生徒の授業料の減免、其の他學業の奬勵に付て適當なる方法を考慮すること

一、派遣軍官人の遺家族に對し各地の一般邦人はいよいよ深切なる同情を以て接するが如き指導を爲さしむること

一、派遣軍官人の遺家族に對し之が就職に關し特に考慮を拂ふこと

應召軍人の子弟の
敎育に萬全を期す
督府で通牒を發す

【臺北十九日發】臺北市外各官廳學校其の他の公共團體に對し十七日附を以て左記の通牒を發した

一、派遣軍官人の遺家族の實情に關し最密在住の學生生徒兒童等をして其の生業、家庭、通信等に關し適當なる勞力奉仕を爲さしむること

一、派遣軍官人の遺家族に對しなるべく便宜を與ふること

應召從業職員に
俸給全額を支給
臺灣電化で近く發表

【臺南廿日發】臺南市外各官廳學校より召集せらるる邦人はいよいよ本日の午前中部隊に入隊、午後二時より市公會堂に於て壯行會を開催、市長、市會議員、官廳學校長、各團體代表者等多數參會し盛大なる壯行會を擧げた、尚ほ當日は既に同市より召集せらるる邦人は一人も無く、其の他の各地方より召集せらるる邦人は何れも午前中に出發の豫定である

奥地に邦人なし

【臺南十九日發本社特電】臺南市外各官廳學校より召集せらるる邦人はいよいよ本日の午前中部隊に入隊、午後二時より市公會堂に於て壯行會を開催、市長、市會議員、官廳學校長、各團體代表者等多數參會し盛大なる壯行會を擧げた、尚ほ當日は既に同市より召集せらるる邦人は一人も無く、其の他の各地方より召集せらるる邦人は何れも午前中に出發の豫定である

七星郡から三千圓

基隆極まりなき支那に對する銃後の態度は到る處最高に昂揚され てゐるが、七星郡では去る二十八日の郡參事會に於て銃後の一方二千圓を議決して國防獻金として寄附することに決し、其の内一千圓は即日同郡出身の軍人遺家族に對する慰問金として、殘金一千圓は郡内各學校に於ける軍事敎育の振興に資することに決し、即日河合郡守は各部落及び炭坑等を巡回して、各自治會、各團體、各個人に對し國防獻金の募集を開始した、其の結果は僅か二日間に於て二千圓を突破し、尚ほ續々申込があるので、更に二千圓を追加募集することとなつた、其の内譯は左の如くである

△△△△△△△△△

のろけ代二千圓
料理屋組合から皇軍へ

【基隆電話】基隆料理屋組合では愛國一號機獻納金を設け一名に付二十二日午前十時基隆郵便所、神戸行の春幸丸に内地行郵便物を搭載することとなつたが、台北郵便局扱の郵便物は次の通りである

本局　當日午前十時四十分（但し速達郵便物及小包は前日午後十時迄）

市内二等局　前日午後　時迄

市内ポスト　當日午前　時　分

今晩の映畫

◎國際館　昼十二時より上映
1.日獨露ニュース　2.北支事變ニュース　3.たそがれの維納　4.五月晴一本槍

◎芳乃館　昼十二時上映
1.新月深川祭　2.日獨露ニュース　3.寂光　4.五月晴一本槍

◎大世界館　昼十二時半上映
1.パラマウントニュース　2.漫畫トンチキダービー　3.日獨北支事變特報　4.踊る三十七年　5.ジヤズ忠臣藏

◎新世界館　昼十二時半上映
1.疾風決死隊　2.パ社ニュース　3.パ社ニュース　4.村の惡物語　5.槍の穗三

◎タイゲキ　昼十二時半上映
1.日獨露ニュース　2.この親に罪ありや　3.北支事變ニュース　4.ロミオとジユリエット

◎園際館　昼十二時より上映
1.日獨露ニュース　2.北支事變ニュース　3.乙女の朝　4.たそがれの維納

◎芳乃館　昼十二時上映
1.新月深川祭　2.日獨露ニュース　3.寂光　4.五月晴一本槍

◎大世界館　昼十二時半上映
1.パラマウントニュース　2.漫畫トンチキダービー　3.日獨北支事變特報　4.踊る三十七年　5.ジヤズ忠臣藏

◎新世界館　昼十二時半上映
1.疾風決死隊　2.パ社ニュース　3.パ社ニュース　4.村の惡物語　5.槍の穗三

◎タイゲキ　昼十二時半上映
1.日獨露ニュース　2.この親に罪ありや　3.北支事變ニュース　4.ロミオとジユリエット

割烹　梅屋敷　電話四七四五番
割烹　梅本　電話八五五番
御料理　竹の家　電話八三四番
割烹　新喜樂　電話八〇四番
割烹　日本亭　電話四五七〇番
御料理　中惣　電話八八六番
御料理　紀州庵　電話八九六番
蒲燒　天ぷら　柳川　江戸長　電話八八番
すき燒　御料理　まねき　電話七〇番

御會葬御禮　後藤正男
御會葬御禮　夫平野健人

風邪は萬病の基　バンコーは　カゼの妙藥　各藥店にあり　發賣元　新原泰生堂

ドーコレポンキ

國民的大盤作傑調歌軍の激感

北支に戰雲漲り
銃後の意氣最高潮！
聽け「キング」の威激盤！

軍国子守唄
新星　鑑まさる　唄
（10166）

あゝ我が戰友
近衛八郎　唄
（10022）

（片面）ふるさとの母　松島詩子
（片面）國境ぶし　新條・みどり

敵陣近く　近衛八郎
曉の戰闘機　井口小夜子
長城悲歌（北支へ！）　南部朝男
征戰萬里　近衛八郎

キングの洋樂
日本テレフンケンレコード

ドーコレ供子

靴ガ鳴ル　河村順子
オ山ソオ發　木村百合子
蟹合戰　河村順子
（流行歌）のらくろ上等兵　長谷川春夫
（童謠）のらくろ上等兵　高城日出子

夢鐘　下八川圭祐
悲船　永田絃次郎
出帆　長門美保
小唄　三門順子
小唄　南部朝男
新民謠　立石千代枝
新民謠　松島詩子
新民謠　樋口静雄
新民謠　三門順子
新民謠　近衛八郎
新民謠　三浦房子
新民謠　林伊佐緒
新民謠　近衛八郎
新民謠　井口小夜子
新民謠　樋口静雄
新民謠　杉井幸一
新民謠　ミクキー・松山

歌劇　カルメン
（ビゼー曲）
指揮　クライバー
演奏　エーリッヒ・クライバー國立歌劇場管絃樂團
合唱　ウィーン國立歌劇場合唱團
組曲　第一幕前奏曲
組曲　第二幕前奏曲
組曲　第四幕前奏曲
（ハルバム・特別番号）十二吋二枚（六組）

管絃樂
組曲「ペール・ギュント」
（グリーグ作）
オーゼの死（アニトラの踊・ソルヴェイグの唄）
指揮・演奏　ボストン・ポップス管絃樂團
（ハルバム・特別番号）十二吋一枚（二組）

管絃樂
組曲「サンスーシの笛」
（ベルヌ作）
一、アリア　二、サラゴード
指揮・演奏　ベルリン・シンフォニー・オーケストラ
（ハルバム・特別番号）十二吋一枚（二組）

管絃樂
歌劇「ウイルヘルム・テル」序曲
（ロッシーニ作）
指揮・演奏　ベルリン・シンフォニー・オーケストラ
（ハルバム・特別番号）十二吋一枚（二組）

女郎花　東金　唄
吾妻八景　勢木秀祐
相馬盆踊　勢木秀祐
相馬二遍返し　勢木秀祐
女中志願　桂右女助
アルコール時代　桂右女助
戀の渡船　阿呆陀羅經
戀しても見れば　阿呆陀羅經
やーとこせ節　阿呆陀羅經
西餘の河原　小山内薫

混　文七元結ひ
曲　忠治情の勘當
相撲太郎　盛田茂竹
白頭山ぶし　盛田ばこ
相馬盆踊　勢木秀祐
相馬二遍返し　勢木秀祐
女中志願　桂右女助
アルコール時代　桂右女助
戀の渡船　阿呆陀羅經
戀しても見れば　阿呆陀羅經
やーとこせ節　阿呆陀羅經
西餘の河原　小山内薫

提督行進曲
獨逸艦隊行進曲
おめいつむつて　寢ても醒めても
（ハワイアン・ワルツ）
カラ・マリ
（ハワイアン・ワルツ）
ナポリの一夜
（ダンス・ワルツ）

ハワイアン　ギター三重奏
（ハワイアン）
一、二、三、四　し
（ハワイアン）
仲、良
（ハワイアン）
人形のワルツ
（ワルツ）
ナポリの唄
（ワルツ）
朝
（ワルツ）
ウインナのポンポン
（ワルツ）

獨逸の旗
（行進曲）

大家一円盤
幡隨院長兵衛
玉川勝太郎
元結ひ
港家小柳丸
忠治情の勘當
相撲太郎

（流行歌）
晩愛　出港　小牡丹　秋波　乙女港　泣き別れ　流轉　烏山　國境　旅涙
マ　な　丹草　千鳥　小鳥　追ひ　近い　親子　燈籠　籠の鳥　夢鐘
旅　の　女郎花　船路　角力　灯　唄　月　出船　秋鐘　草笛　悲船
ソングス　セントルイス・ブルース　ソングス　リリー・ネーラ　ソングス　ソングス　ソングス

(第三種郵便物認可)

子供の假名遣を如何に指導すべきか

實生活に則して教育せよ

松坂忠則

今年はじめて我が子を小学校にいれた親達は「サイタ　サイタ　サクラガ　サイタ」から始つて國本のページが進むごとに、コドモと同じ驚びと新な元氣とを感ぜられて、ともかくもこの夏休までたどりついたワケである

はじめの頃は「はたして我が子がほかのコドモと一しよに進むコトができるだろうか」とか、「次々むずかしくなる教育程度にたえて行けるだろうか」と、すくなからず心をいためられたコトであろうそして今、夏休みになつて緊張より生むがやすいといつた安心を感じられてゐるコトとおもう

ところが、實は二学期になるとここに思ひのほかメンドウな出遇にさしかかるのだとゆうコトを覚悟しなければならない、それはカナヅカイの問題である、たとえば今まで「アカイ」とゆうコトバで「カ」と讀むコトを習つたカナや「アジサン」で「ア」と讀むコトを習つたカナが、二学期になると「ハカアカラ　イヌガ　キマシタ」とゆう書き方を覚まねばならない、お教師は「オベンタウ」タ境小僧は「ユブヤケ　コヤケ」とゆうように、同じカナでありながら、今まで習つた發音と違つた書み方をしなければならなくなる、桃太郎を「モモタロウ」と書いたり、旅を「ハイ」と書いたりすれば、先生からお叱りをうけるのである

どんな学問でも、はじめて習うのはメンカシイのがあたりまえである、コドモが家庭でオサライをするのに、相當に学問をうけた親達が小学生の指導ができないとゆうコトは、ほかの学科ではタメがあるまい、まして第一学生のオサライはことに然りである、ところがこの一年生のカナヅカイについて、マチガイなく指導するコトのできる親達が、はたして、どれほどあるだろう、百人に一人もないといつても、マチガイではあるまい

では、親達として、どうしたらよいのだろうか、ある世話がわざわざ小学校に出むいて先生に「カナヅカイを御敎へ願ひたい」とお申されたとこう、先生は「カナヅカイとゆうものは、一つ一つのコトバについてメクラ暗たんに覚えるほかに方法がないのです」と聞かされて、すごすご引きさがつたとのコトである

親達にチャンと覚えろと要求したところで、決して覚えられるモノではない、親ばかりでなくコドモも同じコトである、この事実を無視して、タダ「本の通りに覚えろ」と要求してみたところで、それはヤクにたたない、能率である

カナヅカイのむずかしさは、分析して見ると「讀むむずかしさ」はそれほどでもない、書くコトが非常にメンカシイのである、「ウエ」を「ワエ」と覚えるようにしつけるコトはやむおえないコトでもあるが、またそれほど困難ではない、だから覚むコトはあくまでも「イエ」である、だからどちらを書いてもかまわない、しかるに「アルイ」においても、しかるに「アルイ」においても、殺音式カナヅカイにおいても、ともに「アルイ」である、だからこれ以外の書き方は、すべてゆるされないマチガイなのである

先生のなかにはこの點の主張が文部省の方針と相反するモノであるとかんがえられる方があるかもしれない、が、それはその先生がこの問題の困難をよくごぞんじないからである、文部省の方針は、旧カナヅカイを讀めるようにだけは敎育しなければならないから、讀本には、旧カナヅカイを用いるのであつて、決してコドモが書く場合でも旧カナヅカイによらなければならないとゆうコトにはなつていないのである、そのコトは明治四十一年九月七日、文部省令第十號において、あきらかに示されているコトなのである

いつたいカナヅカイのむずかしさは、ほかの教科とかむずかしさとは、マッタク性質を異にしている、理科においては、絶は絶くからとて、魚だといつて教えるワケにはいかない、たといどんなにむずかしくても、絶は絶、鯛は鯛と教えなければならない、しかるにカナヅカイの問題は、元來殺音通りに書くべきか殺音のカナとゆう文字を、あやまつて殺音を導う書き方にしているものなのである、勿論これには込みみつた事情がある

しかしどんな事情にもせよ、ともかくも旧カナヅカイとゆうモノが殺音文字の使い方をおやまつているコトにはかわりはない、非常に多くの時間と精力をついやして敎えれば、あるいは、讀本に書いてあるように書けるようになるのかもしれない、しかしそんなコトを敎えてみたところで、それは実生活にはなにらの利益をもたらすものではない、今日の社會は、旧カナヅカイのような無用のものを覚えるために、他に学ばなければならぬ多くの学問を要求しているのである

(註)著者はカナモジ會の主任

淋病

新發賣

普及藥

男子用（一號二號）
婦人用（三號）

一四九〇

本品投與の目的は從來より一層簡易低廉に且確實なる淋病の治療力を擁ひ患者の痛苦を二日も早く解消せしめてやるに在ります。

他にない治療の特長

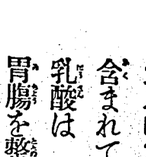
用量……一回〇・五一〇・五瓦

時間……一回二分間

用法……安全簡易

（食前食後用時間對なし）

右記の如く優れた特長にて淋病を短日時に治癒する本藥の主藥ブラオン銀は、それを優秀に使用すれば一時的に急激に感じ治癒を容易にする輕度殺菌力を發く、その全體の求めて止まぬ強力殺菌力が淋病の惡を取る病原を破壊し膿を除く力が殆ど強きを證明するもので、その上短日時で治るのは、特殊消炎殺菌敏感力と前記殺菌力とを、苦心研究の結果が法で増強した本藥法にして初めて出來る新藥で殺菌力だけの從來の治療とは雲泥の差にあります。



安成二郎選

臺日歌壇

北港　北港　雨雨

たそがれの三線道路に散乱するともし明るし雨ふる扉かなる山峡道をガタ〳〵と自

草むしる手を休めつつ一としきり啼く鶯をしばしきくかも

さらく〳〵と雨降にそそぐ夜の雨を恋ぐにより聞き飽かぬかも

草原にまろべば心たのしけれ流るる雲に思ひよせつつ

瑞芳庄　國　修田

なつかしき枝夜の生徒居並みをそろへ軍歌を歌ひつつ行く

斗南　有馬たま子

梅の合ひし友と別れて二年の月日は早も過ぎて行きたりさびしさの極れる日は日ねもすを一人扉かに針もちてをり

すや〳〵と子等は眠りぬ小夜更けを吾はいねがてに物思ふかな

四疊半を扉かにたたく五月雨の音もさびしき今宵なりけり

このもしきおしろひ花の咲き香を今宵もひとり愛でてゐにけり

洗ひ髪風に吹かせて田圃路あてなくしばし歩きかへれ

淋しさの身にしむ日かなしとと今日も日ねもす五月雨の降る

台南　久美子

おも〳〵と波の重れた郵便に山寺の鐘かすかに聞ゆ雨降の日

雨降の日ケタづく大正琴鳴るまで飛びかかりてをり

屋のつぺの水に日ざしてかくれんぼの子の隠れたる扉の揺れてをり

ルーゴンケ

ンギンオラプ

代用藥ナン

効能　梅毒其他慢性疾患に有効にして殊に初期に於ては一週間乃至三週にて全治せしむること多し又他の治療法と併用するも害なく且つ其の効果を増進す

用量　一回一瓦宛一日三回食後服用

用法　本品を水又は湯に溶解して服用す

價格　一瓶（一瓦入）約一週間分　七圓
　　一瓶（二瓦入）約二週間分　十圓

文献進呈　日東製藥名古屋支店

全國藥店にて所賣す　詳細は直接總代理店へ

東京市芝區通新町十三番地

總代理店　合名會社　河原商店

二五瓦入（約一週間分）七圓
五〇瓦入（約二週間分）十圓

新養毛料　ワカミツ

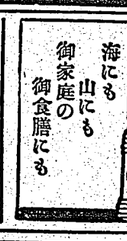
眞夏の整髪に

フケ、痒み、抜毛、禿毛、若禿、衰頽、無毛、眉毛、其他の障害に偉特の効果

一・二〇　二・七〇

全國藥店にあり

（資生社談話）



キューピーマヨネーズ

海にも山にも御家庭の御食膳にも

通信敎授　バイオリン尺八　ギター、マンドリン、ハーモニカ

三味線、以上各科規則書進呈す

福岡市中島町福岡大日本家庭音樂會

粉白形固ワーサ

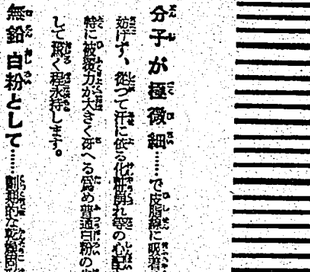
分子が極微細……で皮膚に吸着せられ殺菌に際しても何等刺戟なく、化粧品としての良好は勿論、殺菌力が大きくなる爲め普通白粉の半量以下三分の一位で充分、而して艶く種永持します。

無鉛白粉として……鉛分を含んだ從來の白粉でありまして小兒皮膚に使用するは危險でありますが、あれば何時何處でも直に溶いて使用し得る長所があり、然も他の無鉛白粉の如く再水に溶け難い等の缺點が無く、極度で自由に溶いて使用出來ます。

又特別の製法……を以て練固した一名「白粉の素」とも稱はれる薄り易く艶美しい化粧が出來、他の白粉の粗大分子と異り極く微細の分子が皮膚の生氣を發揮する結果の白粉であります。

專賣特許　定價十錢

白粉の素



店頭座見ゆ　國兩・京東　舗本總石ワツミ

カルピス

味も涼しい乳酸菌滋強飲料

カルピスに含まれてゐる乳酸は胃腸を整へ病菌を殺すばかりでなく生理的に體を涼しくする作用を持つてゐるのです！

生理的に涼しくなる！

主成分　ビタミン、カルシウム、蛋白アミノ酸、葡萄糖を含んでゐます

乳酸の他に

買ひよい50銭

全國有名蓄音器店にあります

大日本雄辯會講談社編修發賣

國定忠次

(第十場)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

(32)

敵討（六）

鉄蔵は蚊だ蝿から、蝉のごとく軽く扱い、

「おばあちゃん」

と、呼び、又

「兄チャン」小さい兄ヤ」

と、呼び、

「清水次郎長親分」

と、口を酸いて出るに任せていって、〝わあン〟と一声、自分に飛びかかって、腰を曳てるやうに抱つた。

見ルや、大原坂の敵も倒も、つるり、他にこつたやうに脇へ逸れた。その途端、天の果へか物の倒れか、大原坂の敵鉄が倒れ、さらりと光つた刃の色が、鉄蔵の甲冑に飛んだ。

鉄蔵はまだ眼が飲んでゐる。脇差は知らず家を絞り脇んだ。〝衝んだ〟から〝絞〟を無性に振廻し、

「わあン――ぐわン」

叫びもなく、たつた今、口にしてゐた〝くわン〟を又口にして、敵もつかず離れず追つてゐるうちに、何を咬んだか、つるりとつて脇を横に打ちつけ、喚鉄して、

「ぐわン」

又も敵勢をつけて倒れ起きた鉄蔵の足が、又もつた。血だ。

「危ねエ」

辛くも踏止まつた鉄蔵は、自分の足許に流れをつくつてゐる血を見て、飛上つて叫喚した。眼の下に、大原坂がのめつて死んでゐる。

「うわあア、喰つたゾ」

鉄蔵も手足も血に染まつてゐる。鉄蔵は、三民足らずの出入口から脇下へ、血刀振廻け、脇のごとく飛んで出て、

「敵討ちをやつたぞ――敵討ちだテー」

と、叫んで駆けた、声が聴衆の耳で絶んでゐて出ない。

脇下には、三四人、所囲行と手傷ひの男とが立つてゐた。

「見てみないでもいいかれ」

「いいにも何にも、相手は大原坂だから既事だ」

「それでも、とたばた音がするだ」

と、云つてゐる処へ、傷ア赤な物が飛び出したので、驚きに既へさて、その三四人、一斉に既をけてゐる。さういふ人が、真赤な鉄蔵を揺れ立つがうと、

「きやン」

血を振り出して視足になつた。鉄蔵は血の標識へ飛びこみ、途中、蹴の切れ端を拾つて脇差に巻いた、それを握て振れ、

「ぐわン――ぐわン――」

振け回をして我と力をつけ、暴然に近く自分は生れ在所の清水村でなく、恐怖心の深い師の坊もゐるが、既悲地の思い役所から小坊主まで、丸い頭と四角い心が、鉄蔵してゐる鉄谷の寺へである。

鉄谷は、宇都宮の東約三里で、下鉄と宇都宮の中間にある仏場で石橋寺といつた方がその頃では判りいい。

そこに在る無敵寺は、鉄蔵が既と古下駄とを残つた仮同の、

円林寺と同じ天台宗で、大阪城が徳川氏に攻落された元和元年の創建、その後再建されたもので、末寺の数が時甘もあつた、が、明治維新のときその殆どが亡び、現今残つてゐる末寺は二十カ三ツである。

敵前五十碼

落彈下の決死撮影

戰線に躍るニュース報國（3）

大陸なるマリンスはこの壮観なる戦闘を自前に撮影する為にその経路を去ること僅に百二十五哩に過ぎぬ一軍艦の中に撮影機を据へて退び込み、小さな鉄窓の様な穴を穿けてそこからレンズを目的物の方へ突き出して待つて居た。これは初めから敵機内に居ると同じで全く無謀と云ふべき一大冒険である。何んとなれば大砲弾の場合に際々あるに限り最初の敵弾が目的物より少し手前にでも落ち過ぎる様な事があれば、彼の身体は粉塵に吹き飛ばされてしまはなければならぬからである。

◇

敵機内の兵士は勿論、それら後方に控へて仕事つたから、そこに居るものはマリンス唯一人であるやがて轟然たる音がして数秒後には爆薬を詰めた九吋二の砲弾が天地を劈く様な響と共に一直線に飛んだ。砲丸は目的物の防舷とマリンスとの間に落ちたのであつた。彼の大砲撃の為に艦内の様になつた。艦用の様に振つて来る砂塵や破片はマリンスの全身とカメラとを襲ひ掩した。然し彼の身体は更に何事無かつたやうであつた。第二弾は前のよりもより少し目的物に近く落ちた。第三弾は更に正かつた。

◇

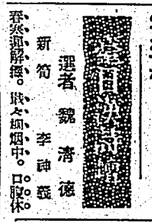
斯くして段射は七回まで繰返されたが、その度毎に砲丸は益々目的物に近くなつて来た。さうして最後に砲手の照準が全く的確になつた第八弾は正しく目的物に命中したその命中せんとした瞬間から、敵の艦が新たに放つて仕掛けた巧妙なる爆撃かの光線を彼は首尾よくフイルムのなかに収めた。その瞬間を見ると流石に凄い上げられた防舷もどこへか吹き飛ばされて、唯小地の様な巨大な鉄塊のみが露出してゐた。

◇

するとこの様な味方の砲兵の立派な成果を見て興奮味になつた艦はこれに対する報復として直ちに旗艦日露や艦隊艦を矢鱈に旗艦目がけて浴せかけて来た。その上艦艦の一部は実艦に出で、マリンスが殺されそうな所から五十哩と離れない交通船に移つて漂つて来た。これも亦得難い絶好のチャンスなりと彼は早速カメラをその方向に出して猛烈な射撃上に追ひ上つて来る所を逃さずフイルムに掴つた。

○

然しここに全く天佑と云ふべきことが起つた。それはマリンスの撮影機と三脚台をデラリと見た猫兵は、それがしつかり機関銃だと誤認して、恰も物に怖ぢた鬼の様に驚き慌てふためいて逃げ帰つたのだ。そこで彼も敵と反対の方向へ一目さに逃げて来たが、云はずもなく艦から引切りなしに銃火の洗礼を受け、その中の数発は三脚台に命中したけれどもマリンスは無事に艦艇所へ帰り着いたのであつた。



運者　魏清徳
新筍　李神養
春興湖畔。我々細中。口腹体。

十字ニュース

△ワガ海軍航空隊ハ十九日午後一時南京マデトンデ火薬庫ヲバクケキシマシタ

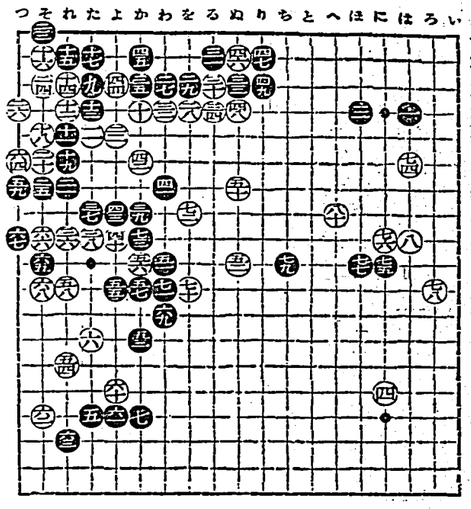
△上海フキンノ支那人ハヤク二十萬モ着ノミ着ノママデ租界ニナガレコンデキマシタガ食フモノガナイノデ暴動ヲオコシカケテキマス。マタ支那軍モ食糧ガナクナツタノデ外國義勇隊ノ所ニ弾丸ヲ買リニキタモノサヘアリマス

全島有段者十人抜碁戦

（第十八局の二）

（本社主催）

先　初段　水　喜三
三段格　安達久三
安達同氏勝



解説　審判員　鷲頭信恭

白五六如何原にた一二に打つ百くを可とせん白六、六一は劣之を除ては一九六に活き次ぐ方可ならすやわ一二の切れあるも以上黒に活動の隊はなら隅に追ひ出され白七と切れ後手に廻り六九と結ぶがるを得ざるかなりて黒回白から

メガホン塔

▲新店の游許潤さん主意御帰り下さい（新店役所電話係長）▲子持探偵御注意以に有難く感謝します。どうぞ住所氏名を御あかし下さい（基隆支那学生）▲官原一郎、張家彬、松本横、知家商店、原巻行也、張家商店様、内地から小荷物が来てゐます（台北駅小荷物係）▲敦賀の内藤栄北大賛成、音楽会の個人出演は先生の家庭で月例を開いてゐる者に限られてゐる（貧しき学）▲東門町のマーヂヤンクラブにお出かけの紳士方・競外の多い時ばかりでなく時局柄営分お休みになつたらいかがですか（通行生）

潮汐（廿一日）

基隆　満潮　前一〇・二〇　後一〇・五〇　干潮　前四・五〇　後四・五〇
淡水　満潮　前一〇・〇〇　後一〇・二〇　干潮　前四・二〇　後四・三〇

商況（二十日）

正米市況前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪期米前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

東京期米前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

神戸期米前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪短期前場（現位）

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

東京短期前場（現位）

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

東京長期前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪長期前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪短期前場（現位）

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪砂糖清算前場

（期米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期九糧米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

（一期繰米）
帯人　一二八・〇〇　片寄　一二四・〇〇
東新　一二八・五〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
帯人　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
東新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
建物　一二七・五〇　同新　一二四・〇〇
東レ　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇
日新　一二八・〇〇　同新　一二四・〇〇

大阪砂糖現物

（三盛OBB）
九月限　九糖五五銭　九安五四片二分一
十月限　九糖五五銭　九安五四片二分一
十二月限　九糖五五銭　九安五四片二分一
三月限　九糖五五銭　九安五四片二分一
大阪砂糖現物
分蜜（八日）
九月限　一九四三・〇〇　一九四三・〇〇
十月限　一九四三・〇〇　一九四三・〇〇
十二月限　一九四三・〇〇　一九四三・〇〇
三月限　一九四三・〇〇　一九四三・〇〇

外國銀塊相場

（現銀現物　大砂一九四〇五片二分一）
先物　九月　一九片一分一五
十月　一九片一分一五
十一月　一九片一分一五
十二月　一九片一分一五
一月　一九片一分一五

外國棉花相場

（一七銘柄平均八十二弗安）
先物　九月　一九七・〇〇
十月　一九七・〇〇
十一月　一九七・〇〇
十二月　一九七・〇〇
一月　一九七・〇〇

外國金塊相場

（現銀現物　大砂一九四〇五片二分一）
先物　九月　一九片一分一五
十月　一九片一分一五
十一月　一九片一分一五
十二月　一九片一分一五
一月　一九片一分一五

大阪砂糖清算前場

（期米）
九月限　二二四・〇〇　二二四・〇〇
十月限　二二四・〇〇　二二四・〇〇
十二月限　二二四・〇〇　二二四・〇〇
三月限　二二四・〇〇　二二四・〇〇

大阪棉花前場

（期米）
九月限　六八・三〇　六八・三〇
十月限　六八・三〇　六八・三〇
十二月限　六八・三〇　六八・三〇
三月限　六八・三〇　六八・三〇

大阪人絹前場

（期米）
九月限　六五・〇〇　六五・〇〇
十月限　六五・〇〇　六五・〇〇
十二月限　六五・〇〇　六五・〇〇
三月限　六五・〇〇　六五・〇〇

横濱生絲前場

（期米）
九月限　一四二・〇〇　一四二・〇〇
十月限　一四二・〇〇　一四二・〇〇
十一月限　一四二・〇〇　一四二・〇〇
十二月限　一四二・〇〇　一四二・〇〇
一月限　一四二・〇〇　一四二・〇〇

倫敦砂糖

（一月限）
九月限　二仙三七
十月限　二仙三八
十二月限　二仙三九

馬砂糖

（一月限）
五三七・〇〇
五三七・〇〇

玖砂糖

五三七・〇〇
五三七・〇〇

紐育砂糖

（一月限）
九月限　二仙三七
十月限　二仙三八
十二月限　二仙三九

紐育棉前場

（期米）
九月限　一九・五〇　一九・五〇
十月限　一九・五〇　一九・五〇
十二月限　一九・五〇　一九・五〇
三月限　一九・五〇　一九・五〇

神戸豆粕前場

（期米）
九月限　一九・〇〇　一九・〇〇
十月限　一九・〇〇　一九・〇〇
十二月限　一九・〇〇　一九・〇〇
三月限　一九・〇〇　一九・〇〇

神戸對外爲替前場

對米加紐　一〇一・一〇〇
倫敦英日爲替　一〇一・一〇〇
對米加紐　一〇一・一〇〇
倫敦英日爲替　一〇一・一〇〇

東京國債前場

甲號五分利　一〇一・一〇〇
第貨六分利三七ノ二
第貨六分利三七ノ二
他出米市

東京銀行實株

（一二五円八分三
（八五弗八分三
（八五弗二八仙
（八五弗三八仙

紐育株式

スチール株　一二五円八分三
アナコンダ株　八五弗八分三
電業株二十種均　八五弗三八仙
鉄道株二十種均　八五弗三八仙

外國爲替相場

紐育対日爲替　二弗一仙
倫敦対日爲替　一弗一仙
倫敦対日爲替　一弗一仙
倫敦対日爲替　一弗一仙

神戸對外爲替前場

對米加紐　一弗一仙
倫敦英日爲替　一弗一仙
對米加紐　一弗一仙
倫敦英日爲替　一弗一仙

シカゴ小麥

九月限　一弗七仙
十月限　一弗六仙八分五
十二月限　一弗六仙四分三
三月限　一弗六仙四分三

大阪砂糖清算前場（A表）

分蜜（八日）
九月限　一弗七仙
十月限　一弗六仙四分三
十二月限　一弗六仙四分三
三月限　一弗六仙四分三

大阪砂糖現物

九月限　一九四三・〇〇
十月限　一九四三・〇〇
十二月限　一九四三・〇〇
三月限　一九四三・〇〇

臺日案内

書籍

支那大地圖　現北支那近北支那二揃全三冊　臺北市榮町一丁目　臺灣書籍株式會社

醫院

性病科　永吉病院　臺北市一六五番　新起町一

寫眞

カメラ中古品高價買入　臺北市京町二　南北寫眞商店

時計眼鏡

メガネ專門は和田　臺北本島町西側通り第六百五十番地

料理屋

料理辨當本家　臺北五四〇番

金融

鰻丼・一人前　參拾錢　臺北四二番

金融

電話金融　商品券　信用第一　臺北市榮町一丁目　臺灣商品株式會社

電話

電話は三成社　臺北市榮町五六二

藥種商

喘息にワンカ　臺北市榮町四ノ二　臺灣大元藥品商會

雜件

冷西瓜・冷ビール　西門町臺灣大衆食堂前電話一四二九

雜件

船員志願者へ　（機關部・甲種乙種）の志願者（給料最低八〇圓）の入社者を無條件で募集中　神戸市海岸通二丁目日本郵船會社ツバメ海務部人事係

雜件

淋病消炎　淋病に黒燒酎　ニチオ器械　非常時電池式ラヂオ發聲用マイクロホン發聲裝置　臺北市京町四番地　ラヂオ商會

雜件

淋病消炎　淋病に黒燒酎　ニチオ器械

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人 佐々木 肇
發行所 臺灣日日新報社
臺北市榮町五丁目 電話五八〇一番

早稲田大學の講義錄

勤勞青年の教育機關

今や、膺懲の軍は北支の地に進められ、時局愈々重大なるの時、第二國民として我が興國の將來を擔ふ諸君は、益々己が業務に精勵すると同時に、更に一歩進めて此の教育機關につき、學力の養成に勉められよ。之ぞ、銃後に於ける諸君の使命である。

小學卒業の諒實力さへあれば、何人にても讀めるやう講義錄。詳細は内容見本によつて知られよ。

中等學校程度

中學講義	一冊	前後期合一年
商業講義	一冊	一年
高等女學講義	一冊	一年
電氣工學豫備講義	一冊	一ケ年

專門學校程度

政治經濟講義	一冊廿錢	一年
法律講義	一冊廿錢	一年
文學講義	一冊廿錢	一年
建築講義	一冊卅錢	一年
電氣工學講義	一冊卅錢	一年

内容見本は必ず自分の望む講義錄を明記して申込まれたし

(申込所) 東京・牛込 早稲田大學出版部 振替東京一一二三 電話牛込三四五

科學畫報

九月号 定價七十錢 送料三錢

海陸共同作戰は何如に開展かるれさ

海軍中佐 佐川早治

出席者 (有本邦太郎博士・石原修博士・村尾巽博士・岡野昇氏・家永豐吉氏・武藤丈夫氏)

保健衛生座談會

震災豫防の☆地盤良否と害	所研究地 齋田時太郎
△ゴムキー製作の實際	大橋田池
秋鳴く虫の飼ひ方と育て方	永富定次郎
恐るべき空中爆彈の威力	大原茂樹
鳴く蟲の種類と鳴き方	農學士 神谷一男
北海に集る珍奇な生物群	理學士 奥田四郎
◇小湊實驗場案内	理學士 恩田經介
三浦の臨海實驗所	理學士 吉井愼夫
マルコニ最初の無線裝置	理學士 牧野富太郎
天氣豫報のできるまで佐藤順一	
氣象學の驚異・來年の天氣が分る	

科學寫眞懸賞大募集

雜草物語

金鑛脈を探ねて 世界の金山を廻る 農林省技師 渡邊正三郎

最新化學グラフ 北支画報 其他科學寫眞滿載

九月号 兒科の供子

炭と油・化學問答等

實物幻燈製作設計圖書數種

秋鳴く虫の飼ひ方等

天文圖解號 大正天皇原著 エジーラムと力ムラ 軍用機と海底大陸

私の發明當選發表

電氣の性質

何もかも破壞するたつまきの話

海底ハイキング

三浦定之助

製作のページ

科學畫報發行所 東京市神田區錦町一 誠文堂新光社 振替東京六五六七

松口ゴラフ

有合ンモルホ

ンミルェフオビに患疾腸

整腸消化と腸内殺菌と兩効果を併有する乳酸菌療法劑

ビオフェルミンは生活力、繁殖力、共に極めて强盛なる二種の乳酸菌を主劑とし之れに乳酸菌の作用を補强する糖化菌を配せる製劑にして、腸内に於て殺菌作用强大なる乳酸を産生して有害細菌を死滅せしめ、腐敗及び異常醗酵を防止するほか、腸機能を正常ならしめ消化を催進して榮養分の吸收を佳良にし、便通を調整する等の効果著明なるにより、あらゆる腸疾患の治療と豫防に賞用されてゐます

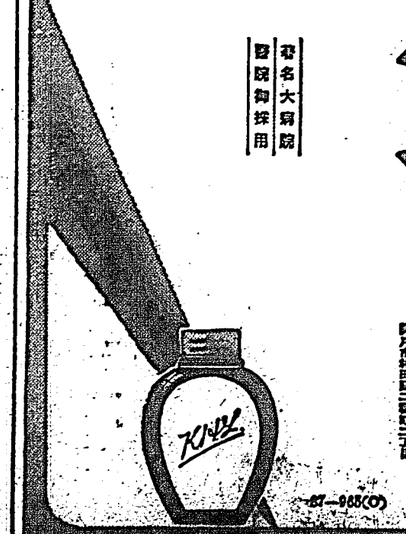
本劑は甘美味、婦人、小兒も喜んで服用し得るを特長とします。

ビオフェルミンの適應症

一、急性及慢性腸カタル 醗酵性下痢、消化不良、食傷、鼓腸
一、脚氣、常習便秘
一、小兒腸カタル、消化不良、綠便、種々の榮養障害
一、榮養を障害する慢性症 即ち結核、糖尿病
一、早老症、即ち腦及び諸血管硬化症、萎縮腎、腎臟炎、肝硬化症

本劑は又、腸チフス、疫痢、赤痢等の傳染性腸疾患豫防と保健に奏効す

粉末と錠劑、各地藥店にあり



登録名大病院醫院御採用

發賣元 鐘紫田長兵衛商店 大阪市東區瓦町二丁目
製造元 鐘紫 鈴戸商店實驗所 神戸市林田區二番町二丁目

昭和十二年八月二十一日　臺灣日日新報　第一万三千四百三十八號　（第三種郵便物認可）　（二）

浦東は火の海

日支交戰に入つて

廣德飛行場空襲

敵陣地爆撃を續行

本部を開設

本部長は總務長官

役員それ〳〵任命

暴民が大掠奪

南京を二回空爆

引揚抑止のため

休戰案を提唱

英國の提案は期待薄

外銀は來週から開店

對日爲替を拒絶か

休止案を拒絶

佛國の勸告を

支那軍襲來

軍需工業動員案が主體

英の撤退案に

米國は不贊

八月中旬貿易

定例閣議

國防費以外は極力節約

閣議で申合す

投資統制法案

臨時議會に提出

重點をおく

賀屋藏相談

南市方面の爆撃の場所

支那側の調査

秋の服裝とそのモード！

常に流行界に一歩を制して
獨自を誇るものに
◎KG◎ サンプルあり
一九三七年秋のモードは
『ケーオー』サンプルより
「全島著名洋服店にサンプルの備付あり」
臺北 ◎KG◎ 高級服地發賣元
◎KG◎ 逢坂商店

移出米石拔檢査
既定方針通り實施
延期は絶對せず、今秋十一月より
當局の態度却々強硬

厨米檢査所では滿米の声價向上のため來る十一月一日より移出米石拔檢査實施に決し、且つ之が準備として一期移出米全部に對して十一月以後に實施せんとする方法により檢備檢査を励行し、檢査員の派遣と土壌關係者に對する實地指導と相俟つて檢査を一々嚴正に對しては石拔檢の不完全な点や指導し、檢査檢查業者をして改良と操作の指導を命じ檢査檢查的指導をなしてゐる、然るに五州の米檢查團組合では先般檢査理事會を開き當局より見て石拔檢査實施を一期間延期し來年一期米より實施せよとの檢査規定を緩和し石の混入檢数を増して貰ひたい、等々の意見有力であつたが之に對し當局の意向を打診するに大體左の如き檢査なるものの如くである

一、昨春春具米當局の方針を明示してあり實施期の今秋十一月一日までに一年の猶備期間を設け、その間通牒、訓示等は數次に及んで居り、今實施延期とか過渡期間を設けよとか云ふことは認める訳には行かぬ、この補助等の大取扱に大差斷を以て臨まねば實現困難である

一、五州の各檢査人皆石拔きを不成績と云ふのなら何とか考慮させねばならぬが、現に新米支所管内の如き各檢査九十%の好成績であり、檢査所管當は八十%の低率であつたゞし檢査機の改造と操作側練の結果百%の好成績を挙げてゐるものもある、要するに石拔と云ふことは努力次第で必ずや前者と同等以上の成績を挙げ得るものである、故に實施の十一月一日までには條目もないことであるから檢者は眞劍に機械の改良に當るべきである

一、檢査規定は五十粍を一單位としこの各檢査中より一升の米を拔き、石の混入一粒までは合格、二粒以上に不合格とせんとする方針であるが之の規定を緩和し石の粒数を増すことに内地側移入者、立場より考へるときは全く無關係である、即ち少しでも石が混入してゐる以上は全然石拔せぬ米と同様に手續又は石拔機に掛けるを要し石拔せぬのと同様の結果となり、依つてこの規定に厳格でなければならぬ

産倉進出で
土蠶間は經營難
休業者續出す(營北州下)

今地蠶業組合の變態してゐる蠶業倉庫が近年著しく發展したので、土蠶問業者は非常な經營難に陷つてゐる、當り生産者が親を農倉に寄託し米の調製乾して貰ふ場合は利用料を拂ふ訳かゝつて土蠶間の様に繭業権を負担しないから組合員又は一般の利用者が激増してゐる本年、即ち春蠶時の現が當る倉庫が殆んど休業の状態にあり、蠶業者の多くが此際その副業を開始しようと計畫してゐる、然るに當局は之等の業者に對し何等の救濟策を講じないので、土蠶間の經營者は非常な困難に陷つてゐる

滿洲國の稻作
生産規模漸く判明
日本內地への輸出は一切禁止
推定實收五百萬石

滿洲に於ける水稻作は從來沙住朝鮮人のみに依つてなされてゐたが最近は滿洲人もこれをなすやうになり關に日本人農業移民が增加すると共に、水田開墾は益々盛んとなり本格的軌道に乘つて來た、昭和七年以降の水稻作付面積及び推定實收高を見ると次の如くである

水稻作付面積

作付面積　町歩

昭和七年	二六、六八一
同　八年	三一、八四一
同　九年	四一、一四三
同　十年	五一、一四三
同十一年	六〇、二四三

右の内地、關東州の當地は、來たる同十一年度に於ける作付面積は約六十萬町歩に達するものと豫想されてゐる、

推定實收高　石

昭和七年	二、六八一、〇〇〇
同　八年	三、八四一、〇〇〇
同　九年	四、一四三、〇〇〇
同　十年	五、一四三、〇〇〇
同十一年	六、〇二四、三〇〇

右の内地、關東州の當地は、來たる同十一年度に於ける作付面積は約六十萬町歩に達するものと豫想されてゐる、

奨勵配布事業が進むと共に、滿洲米の品質が一段と現在では關、松樹米の優良品は關餘米との區別も殆ど困難であるといはれる位に迄改良されてゐる、且つ水田の多い地方としては新京、奉天、撫順、安東、開原、松樹、海城、營口、北滿濱林地方、間島の各地方であるが野米は遼河、松花江、穆稜河、牧丹江、嫩江、太子河、鴨河畔の各河流域には開田せらるるものが增加するであらう、次に國務院は嚴く滿洲の農家に奨勵されてゐるが、奨勵面積は年々增加し昭和十一年度に於て十一万四千町歩、推定生産額四百五十六万石である、いま、昭和七年以來の**陸稻作付面積**及び推定数量を見ると次の如くである

作付面積　推定實收高

昭和七年	二、三〇〇	二、六〇〇
同　八年	二、八〇〇	三、二〇〇
同　九年	三、五〇〇	四、〇〇〇
同　十年	四、三〇〇	四、九〇〇
同十一年	五、三〇〇	六、〇〇〇

右の如く滿洲米作は國務院の奨勵配布事業が進むと共に、滿洲米の品質が一段と現在では關、松樹米の優良品は關餘米との區別も殆ど困難であるといはれる位に迄改良されてゐる、且つ水田の多い地方としては新京、奉天、撫順、安東、開原、松樹、海城、營口、北滿濱林地方、間島の各地方であるが野米は遼河、松花江、穆稜河、牧丹江、嫩江、太子河、鴨河畔の各河流域には開田せらるるものが增加するであらう、次に國務院は嚴く滿洲の農家に奨勵されてゐるが、奨勵面積は年々增加し昭和十一年度に於て十一万四千町歩、推定生産額四百五十六万石である、いま、昭和七年以來の**陸稻作付面積**及び推定数量を見ると次の如くである

作付面積　推定實收高

昭和七年	二、三〇〇	二、六〇〇
同　八年	二、八〇〇	三、二〇〇
同　九年	三、五〇〇	四、〇〇〇
同　十年	四、三〇〇	四、九〇〇
同十一年	五、三〇〇	六、〇〇〇

實業大會
實行委員會
大會規則を附議、提出
蘇澳築港の促進申出

全島實業大會の實行委員會は二十日午前十時台北鐵道ホテルにて開催、委員長坂本素魯部長を始め委員十四名出席（台中前田、苗栗曾氏、台南過曾氏、屏東阿久根は缺席）坂本委員長より一場の挨拶あり東京銘柄濱算前場（午前）

米	先限	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五
	中限					
	先限					
石炭	中限					
	先限					
綿糸	中限					
	先限					
大豆	中限					
	先限					

實業大會實行委員會

大會規則を附議、提出

蘇澳築港の促進申出

全島實業大會の實行委員會は二十日午前十時台北鐵道ホテルにて開催、委員長坂本素魯部長を始め委員十四名出席（台中前田、苗栗曾氏、台南過曾氏、屏東阿久根は缺席）坂本委員長より一場の挨拶あり東京銘柄濱算前場（午前）

米	先限	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五	二、二五
	中限					
	先限					
石炭	中限					
	先限					
綿糸	中限					
	先限					
大豆	中限					
	先限					

高雄州米商組
合總會迫る

【高雄電話】高雄州米穀商同業組合では既報の如く來る二十六日午前十時より同組合事務所にて第六十五回評議員會を開き一、昭和十二年度供出割當米穀檢査實施方法、檢査正に關する件一、關税及び諸税負擔輕減に關する件一、臨時總會開催に關する件一、定款一部變更に關する件一、臨時總會開催に關する件其他十件の議案を附議する筈と聞くが、右定款變更は右拔檢査實施に伴ひ檢査を厳重ならしむる爲の点の變更をなすもので十二年度檢査より拔檢實施其他による出費增加に備へる爲め、現行の手數料組合費八円を二十円に附加率一圓二錢六厘を三圓に引上げて五千七百七十円の收入增加をはかるものであるが、附加率十割の大小增徴となつて臨時總會の席上では十分協議の上、次回の定期總會に於て決定する筈である

正市決算總會
廿八日開催

台灣正米市場では二十日午後三時より同市議事場に於て評議員會を開き、井出松太郎、曾根榮之介、劉金戸、吳振金、池田卓一、尤錦鋐、高良の八評議員出席左の如く總會開催に決定し四時過散會した

一、決算報告に來る二十八日午後三時より正市立會場に於て開催することゝす

一、總會に提出する決算報告を承認す

一、假例である總會終了後の懇親會は時局柄簡單に開催費用を圓節減金とする

一、理事長、副理事長、常務理事、評議員等全役員任期滿了につき改選の件を總會に上程する

內、鮮、滿、臺連
絡運輸會議

內、鮮、滿、台連絡運輸會議は日滿兩局が新運の勢にある折から來るべきオリムピック東京大會の輸送問題などを加へて來る十月滿鐵主催にて京城にて開催される筈であるが部會は左の如く決定した

一、運賃問題　二、貨物運送問題　三、旅客運送問題　四、通關問題　五、其他

調味料『旭味』
發賣早々好賣行

月産五十ベンベル會社の製造に係る新調味料旭味は既報の如く、五圓會の發賣以來各方面より問合殺到し、第一回入荷分は發賣早々全部賣切れとなり、第二回入荷分も既に大部分賣約濟みとなつた、旭味は從來の醬油、ソース類と異り、肉、魚、野菜、果物、汁粉、ライスカレー、コロッケ、シチュー、サラダ、ハムエッグ、ビフテキ、カツレツ、フライ、天ぷら、おでん、すき焼、鳥鍋、ぼたん鍋、もみじ鍋、牛鍋、鰻丼、親子丼、鳥丼、牛丼、鰻蒲焼、鳥焼、鳥すき、鳥水炊、鳥雑炊、鳥飯、鳥そば、鳥うどん、鳥ラーメン、鳥ライスカレー、鳥コロッケ、鳥シチュー、鳥サラダ、鳥ハムエッグ、鳥ビフテキ、鳥カツレツ、鳥フライ、鳥天ぷら、鳥おでん、鳥